

製品名: UQCRC2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21564**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:48kD;Observed MW:48kD

抗原情報

遺伝子名	UQCRC2
別名	UQCRC2
遺伝子 ID	7385.0
SwissProt ID	P22695
免疫原	ヒト UQCRC2 の合成ペプチド

背景

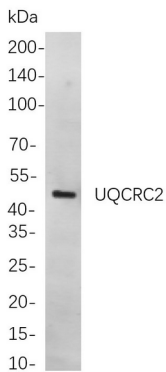
細胞局在: ミトコンドリア内膜。この遺伝子によってコードされるタンパク質はミトコンドリアに局在し、ユビキノール-シトクロム c 還元酵素複合体（複合体 III と呼ばれる）の一部である。この複合体はミトコンドリア呼吸鎖の一部を構成している。この遺伝子

の欠損は、ミトコンドリア複合体 III 欠損症 (核型 5) の原因となる。[RefSeq 提供、2015 年 7 月]

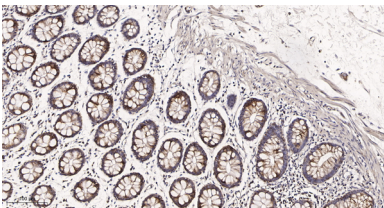
研究分野

-

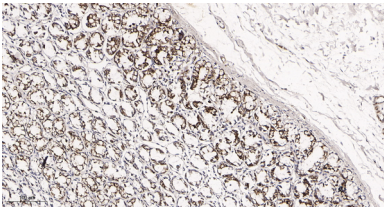
画像データ



UQCRC2 ウサギ mAb を用いた A172 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。



パラフィン包埋ヒト結腸組織の免疫組織化学分析。1、UQCRC2 ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、抗体の回復には EDTA pH 9.0 を使用 (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。



パラフィン包埋ラット結腸組織の免疫組織化学分析。1、UQCRC2 ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。